

# 岐阜県立関特別支援学校

学校長 各務 賢一  
学校住所 関市桐ヶ丘一丁目2番地

電話 (0575) 22-4238

- 1 会議の名称 岐阜県立関特別支援学校 学校評議員会
- 2 会議の構成 **【 学校評議員 】**  
池戸 義隆 卒業生・車いすバスケット代表  
(50音順) 井上 あさ子 社会福祉法人美谷学園障害者支援系統括園長  
加藤 喜美治 関市社会福祉協議会会長  
香村 友数 関市児童民生委員  
白幡 久美子 中部学院大学短期大学部教授  
  
**【 学校職員 】**  
各務 賢一 校長 古池 浩 小学部主事  
別所 正史 教頭 武藤 晴好 中学部主事  
森嶋 千香子 事務部長 水野 圭三 高等部主事
- 3 会議の目的 学校運営について地域住民や学識経験者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた活力ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成23年7月12日(火) 10:00~11:30  
岐阜県立関特別支援学校 小会議室  
会の内容(主な議題)  
校長挨拶(学校評議員委嘱)  
出席者自己紹介  
平成23年度の教育計画及び各部の様子について  
高等部作業学習製品の販売価格について  
授業参観の感想や関特別支援学校についてのご意見など  
その他
- 5 会議の概要

## 校長挨拶

- ・本年度も学校評議員をお願いするが、学校祭などの機会にもご来校いただき、よろしくご指導を頂きたい。
- ・震災後東北地方の特別支援学校の状況は非常に厳しい。本校としても防災体制の見直しなどに取り組んでいきたい。
- ・本年度は県の方針も変わり、①望ましい就学区域の見直し、②可茂特別支援学校の開校による生徒の移動、③スクールバスの配数など課題も多いが、従来からの課題であった地域との連携強化も軌道に乗り、各種の行事でご支援をいただき成果を残すことができた。
- ・生徒の情報としては、ぎふ清流大会強化選手として3名、また今年の山口大会にも2名が出場する。

テーマ1 平成23年度の教育計画について

学校より以下について説明を行った。

- (1) 学校の教育目標、学校経営の方針について
- (2) 児童生徒の実態（児童生徒数、通学状況、出身地域、身辺自立の状況等）、スクールバスの運行状況、年間行事について
- (3) 各部主事による小学部、中学部、高等部の児童生徒の様子、指導の目標、行事について

テーマ2 高等部作業学習製品の販売価格について

学校より本年度の作業学習の製品の販売価格について、見本を提示し説明を行った。

質問1 よい製品だと思うが、校内での販売以外にどこで販売しているか。

学校 本年度は、ふれあい祭りで販売し今後は学校祭でも販売を予定している。校外では美濃加茂市の「手作り工房 夢街道」などでも販売をしている。

テーマ3 授業参観の感想や関特別支援学校についてのご意見など

意見1 授業参観の印象では、はるかに障がいの程度が重くなっているように感じる。教員の負担増や、医療的ケアの問題など課題も多いが、学校としてよく指導していると思う。

意見2 校舎の耐震対策はどうなっているか。また避難場所として指定されているか。

学校 校舎は最初から耐震構造で建てられている。また本校は避難場所には指定されていないがさまざまな状況を想定して十分な準備を整える必要がある。

意見3 授業を参観し、マンツーマンできめ細かい指導を実施しているように見えるが、生徒同士のコミュニケーションも大切だと思う。また外部の教育力の活用も大切だと思うがどうか。

学校 ふれあい祭りでは地域の方々の参加もあり、学校美術館では外部から作品を募集し、芸術性の高い作品を生徒に鑑賞させている。各種の行事でも校外の方々の力を借りた行事を実践している。

意見4 地域の企業や施設での「進路体験学習」など社会参加のプログラムが充実しており、今後も地元や地域と連携した教育活動も大切だと思う。

6 会議のまとめ

- (1) 本校の児童生徒の実態を十分ご理解いただく事ができた。学校経営を幅広い観点から評価していただき、本校の教育活動に対して貴重なご意見を伺うことができた。
- (2) 高等部作業学習製品の価格については、学校評議員全員から適正価格と認められた。